

東北地方における望ましい交通のあり方

取り組むべき施策

- 1 . 地域間・都市間交流を促進する「広域的な公共交通の整備と活用」
(答申「第 2 章」)
- 2 . 快適で活力を生み出す「都市交通の整備・改善」
(答申「第 3 章」)
- 3 . 安心して暮らし続けられる地域づくりのための「地域の足」の確保
(答申「第 4 章」)
- 4 . 「環境に優しい」交通体系の整備
(答申「第 5 章」)





1. 地域間・都市間交流を促進する広域的な公共交通の整備と活用

各施策とも取り組みが進められているが、東北地方内の交流人口は減少(悪化)した。一方で、他ブロックや海外からの交流人口は増加するなど、評価指標の上昇がみられ

表 「地域間・都市間交流を促進する広域的な

項目	内容	平成21年度の主な実施施策		
大目標		地域間・都市間交流を促進する広域的な公共交通の整備と活用	-	
	中目標		他の地方ブロックや海外との交流拡大のための基盤整備の着実な推進	-
		施策	整備新幹線の着実な整備の推進と高速化	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線高速化に向けた検討、調整 ・東北新幹線新青森開業プレキャンペーン
		施策	山形新幹線及び秋田新幹線の高速化等に関する検討	-
		施策	仙台空港アクセス鉄道の着実な整備の推進と仙台空港の広域利用促進策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台空港アクセス鉄道の利用促進に向けたインセンティブの創出 ・仙台空港アクセス鉄道における緊急時の代替輸送への対応(マニュアル作成) ・地域公共交通活性化・再生総合事業による支援
		施策	他の地方ブロックとを結ぶ高速バス網の充実	・酒田-上野・東京線の運行開始
		施策	フェリーの活用に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> ・「東北の船旅と遊覧船ガイド」ホームページの開設 ・地域公共交通活性化・再生総合事業による支援(大間・函館航路)
	中目標		東北地方内の都市間移動円滑化に向けた検討	-
		施策	鉄道在来線の高速化等の検討	-
		施策	東北地方内の都市間を結ぶ高速バス網の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・東北高速バス共通フリーバス「東北おトクパス」実証実験の実施 ・「高速バス乗り継ぎ円滑化作業部会」による検討 ・仙台駅前ターミナル機能の充実化

る項目もある。

公共交通の整備と活用」に関する施策進捗状況（その1）

評価結果（赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化)）				
アウトカム指標		平 17	最新年	傾向
他ブロック、海外から、及び東北地方内の交流人口 (百万人) (出典)旅客地域流動調査、国際航空旅客動態調査		5,860	5,837 (H19)	減少
他ブロック、海外からの交流人口 (百万人) (出典)旅客地域流動調査、国際航空旅客動態調査		41	45 (H19)	増加
地域間所要時間 (分)	東京～青森	239	239 (H21)	横ばい
	東京～山形	230	230 (H21)	横ばい
	東京～秋田	150	150 (H21)	横ばい
(出典)各年時刻表				
仙台空港 宮城県外利用者数 (全国利用者数)(千人) (出典)国際航空旅客動態調査		42 (84)	46 (85) (H19)	増加
他ブロックと東北地方間の 高速バス利用者数(千人) (出典)東北運輸局		1,878	-	-
フェリー利用者数(千人) (出典)東北運輸局		1,836	1,818 (H20)	減少
東北地方内の交流人口 (百万人) (出典)旅客地域流動調査		5,819	5,792 (H19)	減少
鉄道利用者数(百万人) (出典)東北運輸局		267	265(H20)	減少
東北地方内の 高速バス利用者数(千人) (出典)東北運輸局		6,424	-	-

表 「地域間・都市間交流を促進する広域的な

項目	内容	平成21年度の主な実施施策		
大目標	中目標	広域的な公共交通の拠点と目的地を結ぶ公共交通の需要に応じた供給形態の見直し	-	
		施策	ルート、ダイヤの見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・東北新幹線全線開業に向けた、新幹線二次交通ネットワーク整備の検討・協議 ・航空ダイヤに接続した大館能代空港～十和田湖無料バスの試験走行
		施策	乗合タクシーの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・山形空港～山形市内における予約制乗合タクシーの運行 ・東北新幹線新青森駅、七戸十和田駅開業に向けた二次交通手段としての乗合タクシー運行の検討、調整
	中目標	交流人口拡大に向けた多様な関係者が一体となった取り組みの推進	-	
		施策	公共交通相互の乗り継ぎの円滑化や利便性の向上	-
		施策	マイカー等によるアクセスの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・交通結節点の駅前整備の実施（新青森駅、七戸十和田駅、浪岡駅） ・パークアンドライドの整備（長町南地区、薬師堂駅）
		施策	多様な関係者が一体となった効果的・効率的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・弘前市公共交通マップの作成 ・バスマップはちのへの発行 ・十和田市バスマップの作成 ・第3セクター鉄道総合情報サイトの開設 ・東北のローカル線首都圏キャンペーンの実施
		施策	多様な関係者が一体となった魅力ある旅行商品の造成	<ul style="list-style-type: none"> ・会津の温泉宿泊と高速バスのセットプラン「高速バスフリープラン」の実施 ・入浴券・お買い物券と乗車券のセットプランの導入 ・フリーパスに地元商品プレゼントや地元宿泊施設等の割引クーポン等、地元と連携した特典の追加

公共交通の整備と活用」に関する施策進捗状況（その2）

評価結果（赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化)）			
アウトカム指標	平 17	最新年	傾向
	主要駅利用者数(百万人)	51.8	52.0 (H20)
(出典) JR東日本			
空港利用者数(千人)	8,009	7,038 (H20)	減少
(出典) 東北運輸局			
-	-	-	-
乗合タクシー運行系統数 (導入市町村数)	507 (-)	567(H20) (90)(H20)	増加
(出典)「数字で見る自動車」			
他ブロック、海外から、及び東北地方内の交流人口 (百万人)	5,860	5,837 (H19)	減少
(出典) 旅客地域流動調査、国際航空旅客動態調査			
-	-	-	-
P&R 駅数	37	83(H21)	増加
(出典) 各年度アンケート調査			
P & BR バス停数	-	17(H20)	-
(出典) 東北運輸局資料			
-	-	-	-
東北6県の宿泊者数(百万人)	-	28.0(H20)	-
(出典) 宿泊旅行統計			

宿泊者数については、宿泊統計の整備に伴い、平成18年までと平成19年以降でデータが連続しないため、平成19年のみとした。

2. 快適で活力を生み出す都市交通の整備・改善

各施策とも取組みが進められ、施策のアウトカム指標では増加傾向が見られるものの

表 「快適で活力を生み出す都市交通

項目	内容	平成21年度の主な実施施策
大目標	快適で活力を生み出す都市交通の整備・改善	-
中目標	都市鉄道の機能強化	-
	施策 仙台市地下鉄東西線の着実な整備と沿線まちづくりの推進 施策 新駅設置などによる既存の鉄道の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年開業に向けた整備 ・コミュニティ・レール化によるコンパクトシティの形成 ・宮古市山口地区への新駅設置に向けた準備、調整の実施
中目標	バス利用環境の改善	-
	施策 定時性確保・速達性向上 施策 使いやすいバス路線への改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブレコーダーの運用 ・郡山市内まちなか循環バス社会実験の実施 ・花巻市市街地循環バス「ふくろう号」の改善
	施策 その他の利便性向上策	<ul style="list-style-type: none"> ・行先表示のLED化の推進 ・パケット通信型バスロケーションシステムの開始 ・八戸市中心街におけるバス停名称統一化の検討 ・八戸市等間隔運行路線情報戦略プロジェクト
中目標	都市交通改善のためのタクシーの活用	-
	施策 需要の少ない時間帯や地域の足としてのタクシーの活用 施策 福祉輸送分野におけるタクシーの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの運行終了後の、深夜時間帯における地域住民の足としての乗合タクシーの継続実施 ・タクシー特定地域協議会の開催 ・山形県ホームページでの事業者連絡先、利用料金等の情報提供

大目標・中目標の指標については下降（悪化）傾向となっている。

の整備・改善」に関する施策進捗状況（その1）

評価結果（赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化)）			
アウトカム指標	平 17	最新年	傾向
	都市部における公共交通利用者数（百万人） （出典）東北運輸局、JR東日本	312	296 (H20)
都市部における鉄道利用者数（百万人） （出典）東北運輸局、JR東日本	107	104 (H20)	減少
-	-	-	-
-	-	-	-
都市部におけるバス利用者数（百万人） （出典）東北運輸局	147	142 (H20)	減少
PTPS 導入地域数 （出典）各年度アンケート調査	3	3 (H21)	横ばい
ゾーンバス導入地域数 （出典）各年度アンケート調査	1	1(H21)	横ばい
バスロケ導入系統数 （導入事業者数） （出典）東北運輸局	318 (14)	1,079 (11) (H20)	増加
都市部におけるタクシー利用者数（百万人） （出典）東北運輸局	58	50 (H20)	減少
-	-	-	-
介護資格取得数（人） （出典）東北運輸局	651 (H16.3.31)	-	-

表 「快適で活力を生み出す都市交通」

項目		内容	平成21年度の主な実施施策
大目標	中目標	交通結節点の改善による乗り継ぎ利便性の向上とまちの賑わいの創出	-
		施策 乗り継ぎ利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「青森市総合都市交通戦略」におけるバス路線見直しや、乗り継ぎ割り引き等料金体系の検討 ・鉄道とバスとの乗継定期券の試験導入 ・十和田市駅構内の表示改善
		施策 交通結節点を活用したまちの賑わいの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者本社1階での地域交流施設の開設 ・「駅の産直」の開設（青山駅、厨川駅、滝川駅、岩手川口駅） ・「駅市」の開催、鉄道基地体験ツアー、鉄道利用による駅前商店会の割引サービス等の実施
	中目標	新サービス導入による公共交通の活性化	-
		施策 運賃の弾力化、乗車券相互利用等の新サービスの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・「東北ローカル線バス」・「エコ鉄スタンプラリー」の発行 ・「きたいわてぐるっとバス」の発行 ・バスとハイヤーの共通利用回数券の導入 ・仙台まるごとバスへの支援
		施策 情報通信技術を活用した新サービスの導入促進	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話サイトでの時刻表、運賃等の情報提供 ・ホームページでのイベント列車等の情報提供
	中目標	バリアフリー化の推進	-
		施策 鉄道駅等におけるバリアフリー化	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台地下鉄南北線に可動式ホーム柵設置 ・浜民駅、小鳥谷駅のホームかさ上げによる列車との段差解消 ・久慈駅トイレ等のバリアフリー化 ・山形駅等におけるエレベーター等の整備
		施策 低床式バス車両の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ノンステップバスの導入促進 ・更新車両を原則ノンステップ車両とし13台導入（仙台市） ・公共交通移動円滑化設備整備費補助金等を活用し、ノンステップバスの導入等を推進
		施策 「心のバリアフリー」の推進等	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー教室の実施（開催11回、参加者477名） ・基本構想策定支援プロモーター（4市町）、基本構想策定支援セミナー（1回） ・仙台圏公共交通バリアフリー情報提供プロジェクト

の整備・改善」に関する施策進捗状況（その2）

評価結果（赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化)）

アウトカム指標	平 17	最新年	傾向
	都市部における公共交通利用者数(百万人)	312	296 (H20)
(出典) 東北運輸局			
-	-	-	-
-	-	-	-
都市部における公共交通利用者数(百万人)	312	296 (H20)	減少
(出典) 東北運輸局			
フリーパス等導入種類数	11	18 (H21)	増加
(出典) 各年度アンケート調査			
IC カード導入エリア数	2	2	横ばい
(出典) 東北運輸局			
都市部における公共交通利用者数(百万人)	312	296 (H20)	減少
(出典) 東北運輸局			
段差解消達成率(%)	66	78 (H20)	増加
(出典) 東北運輸局			
乗合バスのバリアフリー化率(%)	10.9	13.5 (H20)	増加
出典) 東北運輸局			
-	-	-	-

3. 安心して暮らし続けられる地域のための「地域の足」の確保

各施策とも取組みが進められているが、地方部における利用者数は減少傾向にある。一方で、デマンド交通の導入地域数は増加傾向にある。

表 「安心して暮らし続けられる地域のため

項目	内容	平成21年度の主な実施施策
大目標	安心して暮らし続けられる地域のための「地域の足」の確保	-
中目標	地域と一体となった公共交通のあり方の検討	-
中目標	地方鉄道、地方バス、離島生活航路の改善	-
施策	地方鉄道の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通活性化・再生総合事業による支援 ・中小鉄道事業者連携プロジェクト ・鉄道事業再構築実施計画 ・I G R地域医療ライン ・国の制度を活用した自治体等による鉄道会社への支援 ・マイレールキャンペーン（一人3回乗車運動）の実施 ・駅名の改称（小石浜駅から恋し浜駅へ） ・沿線高校への出前授業 ・野田玉川駅、田野畑駅の改修による移動の円滑化
施策	地方バスの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通活性化・再生総合事業による支援 ・スクールバスと路線バスの融合 ・「地域交通ネットワーク構築事業」による補助路線の診断の実施
施策	離島生活航路の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・「むつ湾内航路活性化推進会議」による検討の継続 ・島の魅力について、若者からなるとびしまレポーターによる、ネット上での情報発信の継続
中目標	新たな「地域の足」の開発と普及	-
施策	バスとタクシーの中間形態の導入～デマンド型乗合タクシーの普及促進～	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通活性化・再生総合事業による支援（五城目町等） ・予約乗合バス・タクシーの試験運行（一関市） ・乗合タクシー実証運行（十和田市）
施策	新たな「地域の足」の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・身障者と要介護者の為の村営福祉有償運送サービス、NPO法人による過疎地有償サービスの実施 ・つがる市乗合スクールタクシーの継続運行 ・過疎地有償運送の実施 ・人材育成事業（地域公共交通活性化研修）

の「地域の足」の確保」に関する施策進捗状況

評価結果（赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化)）

アウトカム指標	平 17	最新年	傾向
	地方部における公共交通（鉄道＋バス＋タクシー＋離島航路）利用者数（百万人） （出典）東北運輸局、JR東日本	257	245 (H20)
地域公共交通総合連携計画策定数 （出典）東北運輸局	-	27 (H21)	-
地方部における公共交通（鉄道＋バス＋離島航路）利用者数(百万人) （出典）東北運輸局、JR東日本	193	191 (H20)	減少
地方鉄道利用者数 （百万人） （出典）東北運輸局、JR東日本	160	161 (H20)	増加
地方バス利用者数（百万人） （出典）東北運輸局	32	29 (H20)	減少
離島生活航路利用者数（千人） （出典）東北運輸局	1,243	1,165 (H20)	減少
地方部におけるタクシー利用者数 （百万人） （出典）東北運輸局	64	55 (H20)	減少
デマンド交通導入地域数 （出典）各年度アンケート調査	12	47 (H21)	増加
コミュニティバス導入地域数 （出典）東北運輸局	-	290 (H21)	-
過疎地有償運送導入市町村数 （出典）東北運輸局	4	5 (H21)	増加

4. 環境にやさしい交通体系の整備

各施策とも取組みが進められており、評価指標でもおおむね上昇（改善）傾向を示し低公害車両の導入や自動車分担率の低下など、改善がみられる。

表 「環境にやさしい交通体系

項目	内容	平成21年度の主な実施施策	
大目標	環境にやさしい交通体系の整備	-	
	中目標	車両の低公害化の促進	-
	施策	低公害車両の普及促進	・ハイブリッド車、低燃費LPGタクシーの導入
	施策	低公害車両の燃料供給箇所の整備	・仙台市中央卸売市場に天然ガススタンドを設置
	施策	環境にやさしい鉄道車両の開発	・機関車搭載用機器の組み合わせ試験の実施と入替専用機関車の試作 ・ハイブリッドディーゼルカーの導入決定
	中目標	効率的で環境にやさしい物流体系の整備	-
	施策	高度かつ効率的な物流体系の整備	・福島県グリーン物流推進研究会の継続開催
	施策	モーダルシフトの推進	・秋田港シーアンドレール構想パイロット事業 ・酒田港鉄道利用可能性調査の実施 ・秋田港駅をコンテナ取扱駅とした関西地区への鉄道貨物輸送の拡大
	施策	静脈物流システムの構築	・近隣リサイクルポートと合同勉強会の実施
	中目標	旅客部門の環境対策	-
	施策	ノーマイカーデーの実施等	・ノーマイカーデーとともに「バス・鉄道利用促進デー」により公共交通への転換促進 ・仙台北部中核工業団地等エコ通勤推進協議会の開催
	施策	観光地等におけるマイカー規制の実施	・各観光地でのマイカー規制等の実施（尾瀬でのマイカー規制、花見山でのシャトルバス運行等） ・奥入瀬渓流マイカー規制の継続実施
	中目標	環境負荷の小さい交通体系の構築	-
	施策	グリーン経営の推進	・グリーン経営講習会の実施
施策	環境の保全・再生・創造対策の実施	・低炭素地域づくり面的対策推進事業（環境省委託事業）の継続実施 ・滝沢駅への太陽光発電新設や、大学生を中心とした利用環境改善・啓蒙活動の実施に向けた検討 ・東北EST創発セミナー開催 ・エコ通勤優良事業所認証制度の創設	

ている。

の整備」に関する施策進捗状況

評価結果 (赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化))			
アウトカム指標	平 17	最新年	傾向
	東北地方内における二酸化炭素排出量 (万 t -CO ₂ /年) (推計値) (出典) 道路交通センサス(一般交通量調査)に基づき算定	1.069	-
低公害車両の普及率(自動車)(%) (出典) 東北運輸局	20.6	34.1 (H20)	増加
低公害車普及率(%) (出典) 東北運輸局	20.6	34.1 (H20)	増加
低公害車両の燃料補給箇所数 (出典) 社団法人日本ガス協会	5	6 (H21)	増加
低公害車両導入割合 (%) (出典) 各年度アンケート調査	39	56 (H21)	増加
物流車両の二酸化炭素排出量 (万 t -CO ₂ /年) (推計値) (出典) 道路交通センサス(一般交通量調査)に基づき算定	644	-	-
-	-	-	-
物流における自動車分担率(%) (出典) 貨物地域流動調査	94.1	92.5 (H19)	減少
リサイクル化率(%) (建設副産物) (出典) 建設副産物実態調査	93.4	-	-
乗用車の二酸化炭素排出量(万 t -CO ₂ /年) (推計値) (出典) 道路交通センサス(一般交通量調査)に基づき算定	425	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
施策実施による二酸化炭素排出削減量 (t-CO ₂ /年) (出典) 東北運輸局	107	13,667 (H19)	増加
認証事業所数 (出典) 交通エコロジー・モビリティ財団	135	388 (H21)	増加
-	-	-	-

低公害車両 電車：回生ブレーキやVVVFインバータ搭載車両
 気動車：低燃費エンジン搭載車両